

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第170期定時株主総会において、裏面のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。なお、期末配当につきましては、1株あたり7円とする旨決議されました。

あわせて、以下のとおり2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の当社グループの業績の概要をお知らせします。

2017年度の当社グループの業績は、売上高は前年度比13.2%増加の7,400億円、営業利益は同0.3%増加の343億円となりました。

売上面では、エネルギー事業部門は、電線・ケーブルの主な原材料である銅の価格が高値で推移したこと及び北米で電力会社の送電設備の更新需要があって好調となりました。情報通信事業部門はカナダで光通信エンジニアリング事業が好調となりました。また、FPC(フレキシブルプリント配線板)及びコネクタを中心とするエレクトロニクス事業と、自動車用ワイヤハーネスを中心とする自動車電装事業は、それぞれ主要顧客向けに需要増となったことで大幅増収となりました。これらに加えて前年度に対して円安となった為替の影響が増収に寄与しました。

利益面では、増益要因として北米の送電工事並びにFPC及びコネクタの需要増があり、減益要因として光接続部品の需要が低迷したこと及び東欧で自動車用ワイヤハーネスの採算が大幅に悪化したことなどがありました。

経常利益は、営業外収益62億円及び営業外費用64億円を計上し、前年度比4.8%増加の341億円となりました。

特別利益としては、政策保有株式その他の投資有価証券売却益など合計10億円を計上し、特別損失としては、国内外の拠点整理等にかかる事業構造改善費用や南米のEPC事業(電線・ケーブルの供給並びに敷設工事の設計及び施工を一体として提供する事業。)が不振であったことに伴う出資金評価損など合計65億円を計上しました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度から54億円増加の183億円となりました。

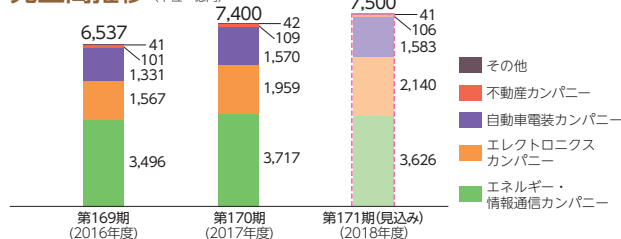
2018年度の連結の事業計画は、売上高7,500億円(前年度比1.3%増)、営業利益390億円(同13.6%増)、経常利益370億円(同8.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度から46億円増益の230億円としました。1株当たりの配当は、前年度から2円増配の年16円(中間配当、期末配当とも8円)を計画しています。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援をいただきますようお願い申し上げます。

敬 具

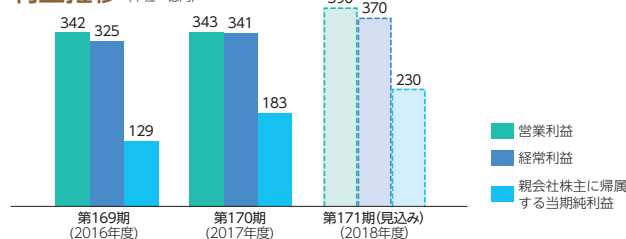
売上高推移

(単位:億円)



利益推移

(単位:億円)



第170期定時株主総会決議ご通知

当社第170期定時株主総会におきまして、次のとおり報告及び決議されましたのでご通知申し上げます。

- 報告事項**
1. 第170期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告しました。
 2. 第170期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告しました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり期末配当を以下の通りとすることに承認可決されました。

配当財産の種類	金銭
1株あたりの金額	7円
総額	2,004,883,237円
効力発生日	2018年6月29日

第2号議案 監査等委員でない取締役9名選任の件

本件は、原案どおり監査等委員でない取締役として、次の各氏が選任され、それぞれ就任しました。なお、本総会終了後の取締役会の決議により、以下の通り選定され、それぞれ就任しました。

代表取締役 取締役社長	伊藤 雅彦	常務取締役	滝沢 功
代表取締役 専務取締役	和田 朗	常務取締役	伊藤 哲
常務取締役	笹川 明	常務取締役(新任)	Joseph E. Gallagher
常務取締役	細谷 英行	常務取締役(新任)	小林 郁夫
常務取締役	北島 武明		

以上

期末配当のお支払いについて

配当金は同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行でお支払いします。2018年6月29日から2018年7月31日の間にお受け取りください。口座振込をご指定の株主様には「配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の株主様には「配当金計算書」及び「配当金の受け取り方法について」を同封しましたので、ご確認ください。

なお、同封の「配当金計算書」とその添付書類は確定申告を行う際ご使用いただくことができます。大切に保管してください。

以上